



再始動!

ばんげ未来トーク 派遣依頼募集

私たちと一緒に「ばんげの明るい未来」について語り合いませんか？

皆さんが日ごろ感じていることを、お聞かせください！



◎申込方法◎

実施希望日の3週間前までに、議会事務局へお申し込みください。

まずはお問い合わせください！

【問い合わせ・申し込み先】

会津坂下町議会事務局

☎84-1507

詳しくは
こちらをご確認
ください



広報広聴の大切さを再確認

行政調査受け入れ



10月11日、栃木県野木町議会が視察に来庁し、ばんげ未来トークについて、議会インターネット録画配信について、陳情の取り扱いについて、など活発な質疑応答がなされました。

他議会との交流は、自分の町議会を知ることにもつながりとても勉強になりました。

交流人口を増やすためにも、議会の交流が益々増えればよいと思います。



宵祭り
(11月2日)



小雨の降る中、坂下から運んだ大俵引きを開催！議員有志も俵を引きました。たくさんの方と一緒に参加してくれました。



宵祭りの目玉！
雨の中、ねぶたが
登場！



会津坂下町のブースにもたくさんのお客さんが詰めかけました。



改選後初の議員交流会。
話に花が咲きました。

姉妹都市 埼玉県 北本市へ

翌日は晴天！
坂下小町も
花を添えました。

産業祭り
(11月3日)



自然エネルギー 100%の村へ

もみ殻をバイオマス資源に

秋田県 大潟村

大潟村は、かつて日本第2の広さを誇る湖だった「八郎潟」を干拓により陸地化した村です。

稲作の副産物として排出される「もみ殻」をバイオマス資源として活用。エネルギーを取り出した後に、水田に戻すことで持続可能な水田農業を維持し、「脱炭素先行地域」を目指し取り組んでいます。

コメの年間生産量は約6万1千トン、「もみ殻」の年間処理必要量は約1万2千トンであり、カントリーエレベーター公社の地内にもみ



もみ殻を使った
バイオマス発電設備

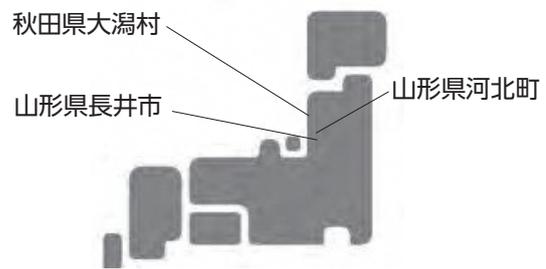
殻を原料としたバイオマスボイラーを設置し、熱導管にて村内公共施設へ温水を供給。燃焼後の燻炭は農業資材として使います。

総務産業建設常任委員会

10月15日～17日



河北町役場前にて



町の課題と向き合う



食文化を広める

馬肉で地域活性

山形県 ながいし 長井市商工会議所



平成22年の平成鍋合戦で「ばかうま鍋」が準優勝を獲得。これをきっかけに新たな地場産品として商品化しようと取り組みを開始しました。

その後、ワークショップや新商品開発・試作、販売に関するアンケート調査などを実施する中で、①長井には既に優れた馬肉料理が多数存在する、②新たな商品開発よりも、既存商品の磨き上げを優先すべきという考えから、馬肉料理取扱店を掲載した「ながい馬肉マップ」を作成しました。

平成25年度には、マスコットキャラクター「パーニック・ナガイ」を活用したPR活動と馬肉を活用した事業化の促進。事業展開の中で、馬肉チャーシュー串など数々の商品開発もされました。

現在も8月29日を馬肉の日と定めてイベント開催するなど、馬肉による地域振興を継続しています。

食で地域活性！

冷たい肉そば イタリア野菜

山形県 かほくちょう 河北町

雇用創出のために平成23年B1グルメin姫路に「冷たい肉そば」を出展し、10,000食を売り上げるなど、「冷たい肉そば」を使い地域活性化のさまざまな取り組みをしています。

また同時期に、輸入すると高額なイタリア野菜を河北町で栽培できないかと、イタリアンシェフや料理関係者と協力し、栽培を促進してきました。後に、三軒茶屋に河北町アンテナショップをオープンし、セレクトショップやレストランを運営するなど、斬新な取り組みをされています。

産業振興は、雇用の維持や促進につながるため、地場産品販路拡大のあり方を調査研究していきたいと思ひます。



シニアの力を循環

シニアみんなで健幸プロジェクト

東京都 清瀬市

清瀬市では一人では継続が難しいけれど、みんなで健康で幸せに暮らそうと、プロジェクトに取り組んでいます。「健幸」とは「健康」と「幸福」を組み合わせています。

フレイルの予防効果を高めるため、「栄養」と「運動」と「社会参加」を軸に、保健師などの医療専門職が保健事業と介護予防両方の視点を持ち一体的に実施しています。

また、シニアボランティアの育成により、シニアの力を循環させていました。



実際に行われているけん玉を使った体操にチャレンジ！

文教厚生常任委員会

10月2日～4日



議場で戸田市議会副議長と

埼玉県滑川町

埼玉県戸田市

東京都清瀬市

行政視察

先進地に学び、見聞を広めて、

地域でみんなで支える

子育て支援・第3の居場所

埼玉県 戸田市



戸田市は平均年齢が42.3歳と、埼玉県内第1位の若い都市です。その中で、地域コミュニティの希薄化が問題となっており、地域全体で子どもの健やかな成長を応援するため「戸田市地域で子育て支援を推進する条例」を策定しました。

この条例のもと、子どもの意見を取り入れた事業を行ったり、子どもの居場所づくりネットワークの中で情報を集約したポータルサイト内で、一目で支援の情報が分かるようになっています。

子育てを家庭だけでなく、地域で支える仕組みづくりがされていました。

子育てファースト

子育て世代定住のため支援

埼玉県 滑川町

滑川町は年少人口(0~14歳)が15%と埼玉県内でも第1位。子育て世代が多く、人口が増え続けている町です。

東京のベッドタウンとして、東武東上線の新駅開設に伴い、平成22年まで区画整理事業が行われ、住環境が整備されました。

町としても給食費無償化や子ども医療費無料化、保育園や学童保育所整備など、子育て支援策を他の自治体に先がけ(平成23年度から)実施してきたため、ファミリー層の転入が増えたとのことでした。

町の会計に占める民生費が約40%、教育費も約14%と、子育てに力を入れていました。



MINNA NO HIROBA
みんなのひろば



踊る姿を見た方々を笑顔に!

**M.LK HAP
Dance School**
若宮コミセン



ばんげの「いい顔」みつけた!

今回は、広報広聴特別委員佐藤宗太が若宮コミュニティセンターで行われているM.LK HAP Dance School さんへ取材に伺いました。

幼児から高校生・スクールOBまで、年齢を区切りながら、楽しくダンスに取り組まれています。その様子の一部を紹介します。



『Laughter is the key to happiness ~笑う門には福きたる~』をモットーに踊るみんなが笑顔に、そしてその姿を見た方が笑顔に…を目標に楽しく笑顔でレッスンしています。



「ばんげ桜まつり」や「ばんげ夏まつり」にもご協力いただき、会場を盛り上げていただいています。



ダンスは、音楽に合わせて演じられる一連の動作のことで、運動神経やリズム感だけでなく、「仲間とのコミュニケーション能力」を向上させるため、現在では、中学校・高等学校の体育の授業に採用されています。



M.LK HAP Dance School
代表 児山 麻里奈 さん

ダンスは体ひとつあればできる
楽しくて素敵なスポーツです。
いつもみんなと楽しく踊れることに感謝です♥

若宮コミュニティセンターで活動中

●毎週木曜日

18:00~19:15 対象：小学3年生~6年生

19:15~20:30 対象：中・高校生

●毎週土曜日

9:15~10:30 対象：幼稚園児~小学2年生

10:30~11:45 対象：小学3年生年~6年生



編集後記

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

旧年は、民間調査の県内ランキングで道の駅あいづが人気一位、「街の幸福度」でも一位、またふるさと納税額は5億円超えを継続するなど、皆様のご努力のおかげで素晴らしい結果となりました。心より感謝申し上げます。

まちの将来像「やっぱりばんげ」がいい!住み続けたい、やりたいことがあるふれるまち「を実現するため、将来を担うこともたちの笑顔のために町議会はこれからも真摯に取り組んでまいります。

(佐藤 宗太)

広報広聴特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 山口 享 |
| 副委員長 | 目黒 克博 |
| 委員 | 五十嵐 孝子 |
| 委員 | 物江 政博 |
| 委員 | 佐藤 宗太 |